

◆◆ トピックス

文部科学省「全国的な学力調査の CBT 化検討ワーキンググループ 最終まとめ」を公開

.....◆◆

文部科学省は 7 月 16 日、「全国的な学力調査の CBT 化検討
ワーキンググループ 最終まとめ」を公開しました。

GIGA スクール構想の推進や国際学力調査の CBT での実施の流れなどを踏まえ、
全国学力・学習状況調査の CBT 化に向けて留意すべき点や
今後の方向性などについて、以下の内容が盛り込まれました。

(1) 段階的な試行・検証の必要性

令和 3 年度に、約 100 校の小学校 6 年生と中学校 3 年生の児童・生徒約 1 万人を対象に、
学校での実施体制やサポート体制の検証、ネットワークシステムの検証、
問題表示形式の差異や児童・生徒の文字入力能力など問題の検証をする予定です。

(2) 端末による学習環境への習熟と発達段階などへの考慮

児童・生徒の学力を的確に測るためには、
端末を用いた調査に違和感なく取り組めるようになることが重要です。
例えば、小学生が記述式問題に解答する際のキーボードの使用や、
障害のある児童・生徒への配慮や指導が必要です。

(3) CBT 化による学校現場への負担の考慮

学校の端末から CBT システムに円滑に接続できる環境の整備や検証、
調査実施前の端末の動作確認、現場での不具合への対応など、
地方自治体や学校などの新たな負担をできる限り軽くする必要があります。
その具体的な対策には、ICT 活用教育アドバイザーや ICT 支援員の配置、
技術面のサポートする体制を整えることなどを挙げています。

(4) 詳細な調査設計の検討の必要性

経年調査は、令和 6 年度の全国学力・学習状況調査から順次 CBT を導入していく予定です。
悉皆調査は、小中学校約 3 万校の児童・生徒約 200 万人が対象となるため、
児童生徒質問紙調査については令和 6 年度をめどにオンラインによる回答方式を全面導入し、
教科調査については令和 7 年度以降、できるだけ速やかに中学校から先行して導入する予定です。

(5) CBT 化に向けた体制整備の必要性

令和 3 年 10 月に CBT の検討・準備の一環として、
国立教育政策研究所に教育データサイエンスセンターが新設される予定です。
CBT の安定的な運用のため、教育データサイエンスセンターと大学、
教育委員会の連携体制の構築を進めるとしてます。

政府ではデジタル庁の創設などデジタル化が推進されていることから、文部科学省は、悉皆調査や経年調査が今後より良く効率的に実施できるよう、必要なネットワーク環境の整備・改善などの取り組みがより一層進められることを強く期待しています。

▼全国的な学力調査の CBT 化検討ワーキンググループ 最終まとめ

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/1421443_00004.htm

■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■

□【2】 情報セキュリティ事故ニュース ～ささいなミスが事故を招く～

■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■

情報セキュリティ事故ニュースについて、調査対象や調査方法などを見直し、学校、公的教育機関、関連組織で発生した情報セキュリティ事故の概要（都道府県名、公表日、組織区分、漏えい経路・媒体、個人情報数）を掲載いたしますので、ご了承ください。

★☆ 情報セキュリティ事故の発生状況（2021年8月17日調査時点）

☆★ （1）紛失・置き忘れ 10件 （2）誤操作・誤送信：4件

☆★ （3）誤配付：3件 （4）内部不正行為：1件

☆★ >> <https://school-security.jp/leak/>

合計 18 件の事故が発生しました。内訳は以下の通りです。

(1) 紛失・置き忘れ

静岡県 2021年4月9日 小学校 書類 29件

神奈川県 2021年6月28日 市立小学校 紛失 書類 12件

岩手県 2021年7月29日 市立小学校 USBメモリ 35件

茨城県 2021年7月30日 県立大学 書類 40件

大阪府 2021年8月6日 市立中学校 書類 1件

大阪府 2021年8月6日 市立高等学校 書類 1件

大阪府 2021年8月6日 市立中学校 書類 1件

大阪府 2021年8月6日 市立中学校 書類 1件

鳥取県 2021年8月10日 県立高等学校 書類 5件

神奈川県 2021年8月16日 市立小学校 書類 3件

(2) 誤操作・誤送信

広島県 2021年7月20日 市立大学 電子メール 237件

東京都 2021年8月2日 保育園・保育所 電子メール 24件

東京都 2021年8月2日 都立高等学校 電子メール 178件

神奈川県 2021年8月6日 私立大学 電子メール 47件

(3) 誤配付

大阪府 2021年8月6日 市立高等学校 書類 1件

大阪府 2021年8月6日 市立小学校 書類 1件

神奈川県 2021年8月10日 県教育委員会 書類 100件

(4) 内部不正行為

香川県 2021年7月30日 県立大学校 インターネットサービス・アプリ 22件

※以下の参考サイトをもとに、学校、公的教育機関、関連組織で発生した情報セキュリティ事故の概要（都道府県名、公表日、組織区分、漏えい経路・媒体、個人情報数）を掲載しております。事故の詳細は、上記に記載されている項目を検索するなどして、ご確認をお願いいたします。

参考サイト：

あなたの静岡新聞/DoGAS/横浜市ウェブサイト/ScanNetSecurity/ニュースサイト「毎日新聞」/
FNN プライムオンライン/IBC 岩手放送 Internet サイト/menkoichannel/日テレ NEWS24/
ニッカンスポーツ・コム/瀬戸内海放送ホームページ/OHK web/NHK NEWS WEB/
読売新聞オンライン/茨城新聞クロスアイ/Yahoo!ニュース/d メニュー/都庁総合ホームページ/
東京都教育委員会ホームページ/リシード (ReseEd) /サイバーセキュリティ.com/Security NEXT/
大阪市ホームページ/神奈川県公式ウェブサイト/カナロコ/とりネット/山陰中央新報デジタル など

■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■
□【3】 学校 ICT・セキュリティコラム ～研究を重ねた専門家が指南～
■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■

◆一人1台の情報端末をなぜ使うかを考える◆

フューチャーインスティテュート株式会社 代表取締役 為田 裕行

小中学校の児童・生徒に

一人1台の情報端末を配備する

「GIGA スクール構想」の実現に向けて、
日本中の教育委員会、学校が取り組みを進めています。
そうして一人1台の情報端末がある環境で育った
中学生が進学してくるのですから、
高校も併せて配備を進めている自治体もあります。

ただ、配備された端末を「どう使うのか」という

議論にまで行き着いていない学校も多いように思います。
一人1台の情報端末が配備されることで、
児童・生徒は新しい学び方、
新しい考え方、新しい表現の仕方、
新しい情報のやりとりの仕方「も」学べるようになります。
これらの力は子どもたちが生きる、
デジタルテクノロジーが普及しているこれからの社会で
自己実現をするための大きな武器になるものでしょう。
そのためのGIGAスクール構想であり、
そのための一人1台の情報端末の配備です。

ただし、これらは一人1台端末を持たせていれば
自然に身につくものではありません。
2019年12月に出された文部科学大臣メッセージには
「これまでの我が国の150年に及ぶ教育実践の蓄積の上に、
最先端のICT教育を取り入れ、これまでの実践と
ICTとのベストミックスを図っていくことにより、
これからの学校教育は劇的に変わります」と書かれています。
先生方のこれまでの教育実践の蓄積の上に、
どのようにICTを組み込んでいくことこそが重要です。

学校での教員研修をさせていただくと、
「操作方法の説明をしなくてはならないので面倒だ」
「私はパソコンが苦手なので、あまり使わないと思う」と
正直に打ち明けてくださる先生方もたくさんいらっしゃいます。
たしかに、最初は操作に時間がかかるのは事実でしょう。
でも、ICTを頻度高く使うようになれば、
児童・生徒だけでなく先生方も慣れていくので、
中長期的に見れば問題は改善されると思います。

最初に操作に慣れることが大変なのが想定されつつも、
なぜICT＝デジタルを導入しなければならないのでしょうか。
ここで考えるべきは、
「どうやって(=How) デジタルを導入するか」だけでなく、
「なぜ(=Why) デジタルを導入するか」だと思います。
前提として、「そもそもデジタルというものが
我々にとってどういうものなのか」を考えていくといいでしょう。
教員研修の講師をするときに、参加している先生方には
「デジタルとは〇〇だ」という文章を考えてもらっています。
「あれば便利だけどなくてもいい」や

「これからは必要不可欠」などの答えが出てきます。
みなさんならば、どんな文章を作りますか？

僕は個人的には、「デジタルとはメガネのように、
能力を拡張してくれるもの」だと思っています。
視力が弱ければ、メガネで視力を拡張して補うように、
デジタルを使うことで可能になる、
ワードプロセッシング、計算、検索、
データの保存・分析などはすべて、
「能力の拡張」だと言えると思います。
能力を拡張する道具としての教育 ICT によって、
学校でどのようなことが実現できるようになるのか
考えていくことが求められています。

◆ 執筆者プロフィール ◆

フューチャーインスティテュート株式会社
代表取締役 為田 裕行

教育 ICT リサーチ 主宰

著書：『一人1台のルール』（2021年 さくら社）

共著：『学校アップデート 情報化に対応した整備のための手引き』（2020年 さくら社）

▽ 学校 ICT に精通した先生方の書き下ろしコラム

>> <https://school-security.jp/column/>

<事務局>

教育ネットワーク情報セキュリティ推進委員会 (ISEN)

〒153-0061 東京都目黒区中目黒 1-8-8 目黒 F2 ビル 1 階 (株式会社 JMC 内)

<https://school-security.jp/>

▽ 「教育の情報化や学校情報セキュリティ対策」にご興味をお持ちの方が
いらっしゃいましたら、本メールマガジンをご紹介ください。

メルマガ登録フォーム：<https://fs220.xbit.jp/y592/form2>

▽ 個人情報の取り扱いは下記リンクをご参照ください。

<https://school-security.jp/privacy>

▽ お問い合わせ・配信停止・メールアドレスの変更は、
下記フォームよりご連絡ください。
<https://fs220.xbit.jp/y592/form3>